※令和４年度以降入学生用

学校番号	T3006

令和５年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「明解　歴史総合」　（帝国書院）						
副教材等	授業プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

単なる用語の暗記ではなく、世界史・日本史の個々の歴史的事象の因果関係を、史資料もふまえ考察できるように教科書やプリントやスライドを用いて授業をおこなう

・歴史的事象や人物に興味を持つ。

・歴史的事象に「なぜそのようになったのか」等の疑問を抱き、自らの力で思考する。

・歴史を背景としたわが国の諸事情を踏まえ、現代の諸問題を歴史的事象と関連付けて考える。

以上のことを踏まえ、定期テスト、プリント、発表、態度などで評価を行う

2　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な公民としての資質・能力を養う

歴史の流れを日本史と世界史を密接に結びつけ、個々の歴史的事象の因果関係を踏まえて理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする

・基礎的な知識を時代の流れや各テーマに沿って理解し、近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりについて概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決にむけて構想したりする力や、それらを効果的に説明したり議論したりする力を養う。また、各テーマで設定される問いを、資料を読み解き、「歴史的な見方・考え方」に基づいて考察し、自分なりの意見を文書化したり、発表できるようになる

・近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究や解決をしようとする態度を養うとともに、自ら問いを立てたり、他者と意見交換をしたりするなど主体的に学ぶ上での姿勢や学習態度がみにつく

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	歴史的事象の基本的な知識を時代の流れやテーマに沿って理解する 習得した知識を活用し、諸資料から様々な情報を適切によみとる 読み取った情報を効果的にまとめる	設定された問いを解決するため、多角的・多面的に考察する 考察したものを発表して説明したり、文章化してまとめたり、他者と議論する 自らの考えをレポートなどにまとめて表明できる。	自国の歴史や、その中で涵養されてきた文化、また他国の歴史や文化を等しく愛し、近現代史を中心とする世界の歴史に対する関心を持ち、自ら積極的に学び、考え、課題を発見できる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	近代以前の歴史	・先史の世界 ・東アジア世界 ・南アジア・東南アジア世界 ・古代オリエント世界 ・古代ギリシア・ローマ世界 ・イスラム世界 ・ヨーロッパ世界 ・南北アメリカ世界	a:身の回りの事象と世界の歴史が結び付いていることを理解している。 a:絵画・文書資料・統計データなど歴史における資料の重要性と，事実と解釈を分けて読み取るなどの適切な読み解き方について理解している。 a:近代化に関する複数の資料を分析し，そこから抜き出した情報を適切に取り扱う技能を身に付けている。 b:資料から得た情報と，中学校までの学習で得た知識を統合し，近代化を読み解く問いを表現している。 b:身の回りの事象と世界の歴史との結び付きについて考察し，表現している。 c:中学校までの学習を踏まえて，見通しをもって学習に取り組もうとし，問いを繰り返し洗練させていくなど，粘り強く取り組もうとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	世界の近代史と日本	・江戸時代の日本と結びつく世界 ・欧米における近代化① ・欧米における近代化② ・近代化の進展と国民国家の形成	a:18 世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と，日本への影響について，資料を読み取り，理解している。 b:「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し，みずからの言葉で表現している。 c:18 世紀の世界交易が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 a:市民社会と国民国家の形成，資本主義社会と国際分業体制確立の経緯について，資料を読み取り，理解している。 b:市民革命および産業革命の経緯などから，諸改革の意義と現代社会との関わりを考察し，みずからの言葉で表現している。 c:市民革命や産業革命が，現代社会に与えた影響と課題について，追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※令和４年度以降入学生用

後期	世界の近代史と日本	・アジア諸国の動揺と日本の開国 ・近代化が進む日本と東アジア ・第一次世界大戦と日本の対応 ・国際協調と大衆社会の広がり① ・国際協調と大衆社会の広がり②	a:明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について,資料を読み取り,理解している。 b:明治維新の歴史的な意義について，現代の日本への影響と関連付けて考察し，みずからの言葉で表現している。 c:明治維新やアジア諸国の変容が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 a:国際関係の視点を軸に，第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と，参戦各国の社会の変化について,資料を読み取り,理解している。 b:第一次世界大戦の総力戦体制下において，列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかについて考察し,みずからの言葉で表現している。 c:勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題
	世界の近代史と日本	・日本の行方と第二次世界大戦 ・再出発する世界と日本 ・冷戦で揺れる世界と日本 ・多極化する世界 ・グローバル化の中に世界と日本	a:世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について，大衆とマスメディアの関わりに着目しながら，資料を読み取り，理解している。 b:ファシズム体制の形成から終戦に至るまで，大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し，みずからの言葉で表現している。 c:世界恐慌後の各国の政治的判断と，大衆の戦争協力が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 a:冷戦構造の形成と，国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について，日本と関連付けながら資料を読み取り，理解している。 b:国際連合を中心に，第二次世界大戦以前と以後の国際秩序を比較することで，戦争の経験が人々に何をもたらしたのかについて考察し，みずからの言葉で表現している。 c:大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制が，現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	・授業ﾌﾟﾘﾝﾄ ・小ﾃｽﾄ ・定期考査	・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題 ・定期考査	・学習活動への参加 ・振り返りｼｰﾄ ・提出物の記述 ・ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度